

316) オレの鞆はどこへ行った。

大塚の駅で6時に待ち合わせをしていたが、池袋でもう6時を少し過ぎていた。まあ5分遅れぐらいだから良かった良かった。小生は池袋で山手線の外回りの電車で、やっとの思いで体を押し込むことに成功して、ほっと胸をなで下ろした。大塚は反対側の右側が降車扉になるので、混雑した車内で少しずつ反対側に移ろうと、体の向きを変えようとする、手に持っていた鞆がどうしても動かない。よくよく見ると、確かに鞆の手提げの所をしっかりと握っているのだが、鞆がない。これはおかしいぞ！オレの鞆はどこに行った！。事情はすぐに分かった。電車の扉が締まる時、鞆だけが扉の外に挟まれてしまったのである。ウーン困った。これではこちらの扉が開くまで降りられない。大塚も駄目だし巣鴨も駄目だし、あー困った。困った！そうだあいつに携帯で連絡しとこう。アッ、携帯も鞆の中だ。困った。駒込も降りられない。ウーン何という不運！何という不幸。それにしても何というお粗末。「次は田端、田端～。お出口は左側に変わります。」電車から開放されたときには、もう6時をだいぶ過ぎてしまっていた。田端で降りて階段を昇って隣のホームに行って、山手線の内回りに乗り変えて、大塚の駅に着いたのは30分遅れになってしまったが、事の顛末を話すのは止めた。ひたすら自分がアホに見えたからである。